



『卓話：急速に変化する医療・介護サービス』

遠藤 正樹 様

【会長挨拶】 北村 淳 会長

*RYLA2023(ロータリー青少年指導者養成プログラム)が10月7日~9日、国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催されます。当クラブから冨田凜さんを受講生として推薦し、正式に受講生となられましたのでご報告いたします。RYLA2023の様子はプログラム終了後にまたご報告したいと思います。



*昨日は地区の公共イメージセミナーがオンラインで開催されましたので、その内容を共有したいと思います。

公共イメージが向上するとどうなるのか。という話がありました。

- 公共イメージの向上：クラブとロータリーの活動に対する認識を高めます→
 - 会員基盤の拡大：入会への関心を高め、参加を促します→
 - 奉仕活動の増大：より多くの仲間と奉仕を行いインパクトを与えます→
- 以上3つが循環し、クラブが活性化します。

RIで公共イメージを向上させる取り組みをしています。昔は誇りのシンボルマークだけを使っていましたが、2013年からロータリーのロゴとマークを組み合わせたものをメインで使うようになりました。その他ロータリーマークの使い方にルールを決めて全世界で統一した基準でマークを使っています。RIホームページの「ブランドリソースセンター」にロゴマークの使い方のルールを調べることができます。現在地区内89クラブのホームページを確認したところ、正しくロゴマークが使われているクラブは2割程度ということでした。

「ブランドリソースセンター」は1年前にリニューアルされて使い易くなっていて利用者も多くなっているとのことでした。

*MyRotaryに関して

国際ロータリーのホームページrotary.orgがあります。ページはいくつかのタブに別れています。「ロータリーとは」でロータリーの歴史やしくみなど、「参加しよう」でロータリーへの入会の仕方など、「活動分野」で奉仕活動の分野など、「プログラム」でロータリーのプログラム、(先ほどのRYLAもロータリーのプログラムの一つです)そして「ニュース&特集記事」最後に「会員用」とあります。「会員用」のタブの中に会員のみが見られるページがあり、これがMyRotaryとなります。会員はメールアドレスとパスワードでログインすることができます。

MyRotaryにログインするとクラブ運営に関しての資料や地区やクラブなど各種レポートを見ることができます。「ロータリークラブ・セントラル」ではクラブの目標を設定し、達成状況を確認できます。「目標設定・確認センター」に今年のクラブ目標を入力してありますのでご覧ください。26の目標があり13の目標を達成するとロータリー賞がもらえるというしくみとなっています。「レポート」からクラブの会員の情報を見ることができ、MyRotary登録者が分かります。本日現在の登録者数は会員数34名中20名で未登録の方が14名おります。年度末までに100%の登録を目指しておりますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

《例会プログラム》

【司会】

柴田 健介
例会向上委員

【開会点鐘】

北村 淳 会長

【ロータリーソング】

ソングリーダー
田中 くに子 君
『我らの生業』



【ビジター・ゲスト紹介】

医療法人社団 康明会
理事長 遠藤 正樹 様

【出席報告】

柴田 健介 委員長

【ニコニコ報告】

柴田 健介 会員(代理)

【委員会報告】

指名委員会
職業奉仕委員会

【卓話】

医療法人社団 康明会
理事長 遠藤 正樹 様



お弁当：
「ベルハート・エール」

【幹事報告】 阿野 正揮 副幹事

- ①東京八王子RC・東京八王子西RC・東京八王子東RCより、「10月例会予定」が届いております。
- ②9月27日のオープン例会について、「お客様連絡票」のめ切が19日（火）となっております。お知り合いにお声がけいただき、にぎやかにやりたいと思います。ご協力をお願いします。
- ③10月10日の献血パンフレットをお手元にお配りしております。お知り合いの皆様へ、献血へのご協力をお声がけいただく際にご活用ください。このほか、ポスターもごございます。ご掲示いただける方は、事務局にご連絡ください。



【指名委員会】 松浦 信平 委員長

指名委員会は次年度の理事会メンバー候補者を指名する役割を持っています。それを総会に諮るということになります。指名委員会の委員については委員長が会長エレクト以外の9名の方々が私が選任するということになっています。先週から今週にかけて歴代の会長経験者の方々にお願いをしてお受けいただきました。お名前をご紹介します。野村さん、小倉さん、横倉さん、まんぼう君、小島さん、山口さん、森原さん、西山さん、そして北村現会長、この9名の方を選任いたしました。9月27日(水)夜に指名委員会を開きたいと思います。詳細はまたご案内いたします。指名委員の方はご参集ください。



【職業奉仕委員会】 まんぼう 委員

毎年日野ロータリークラブで後援しているPlanTビジネスプランコンテストのエントリーが10月10日まで募集しています。皆さんの会社の幹部候補とか、自分なりにビジネスプランを考えて会社の活性化になると思っていますのでぜひエントリーしてもらいたいと思います。

いま起業家を応援するしくみをつくれないうかを日野市とチャレンジしています。既存事業との相乗効果をどうするか、起業家を支援することによって皆様のビジネスがどう発展するかということと同じく10月10日の夜、私がファシリテーターで事例紹介ということで中央大学ローターアクトで学生起業家になって今東京中央ロータリークラブの会員の田中さんと2人で「起業家を応援することによって自分の事業を発展させる」ことの話を見せてもらいます。

今度IMの発表用に動画をつくるのですが、クラブとして若い起業家を支援しているという活動の動画を撮ろうと思っています。時間がある方は極力来ていただければと思います。



rotary.org

	MY ROTARY	クラブ検索	Q検索	ご入会	ご寄付をお願いいたします
ロータリーとは	参加しよう	活動分野	プログラム	ニュース&特集記事	会員用
概要	概要	概要	概要	ニュース・特集記事	My ROTARY
ロータリーの歴史	ロータリーへの入会	平和の推進	青少年プログラム	ロータリーの雑誌	クラブと地区の運営
ロータリーのしくみ	ロータリークラブ	疾病との闘い	ロータリー青少年指導者養成プログラム	プレスセンター	ロータリークラブ・セントラル
ロータリー財団	ローターアクトクラブ	水と衛生	平和フェロシップ	ブログ	会長賞
ロータリーのリーダー	インターアクトクラブ	教育の支援	ロータリー地域社会共同隊	ソーシャルメディア	クラブ検索
多様性、公平さ、開放性	プロジェクト	母子の健康	補助金	バーチャルリアリティ	会員コーナー
財務情報	ロータリーのパートナー	地域経済の発展	青少年交換		ロータリー国際大会
ロータリーのパートナー		環境の保護	新世代交換		プロフィール
ロータリーの会員		災害支援	奨学金		ロータリー財団

140万人

ひとをつなげる
世界に約140万人の会員がいます

4700万時間

地域社会を変える
毎年約4700万時間をボランティア活動に捧げています

3億ドル以上

プロジェクト資金を支える
2020-21年度には全世界の奉仕プロジェクトに3億3300万ドルの補助金が授与されました

【卓話：急速に変化する医療・介護サービス/切迫する日野市の地域医療と介護サービス危機の打開へ向けて】医療法人社団康明会理事長 遠藤 正樹 様



人生100年時代 我が国は、世界一の長寿国となり、この超高齢社会への対応については、世界各国が注目しています。一方、未だに終息していないコロナ感染、3か年に渡る政府からのコロナ政策投資は、我が国の国家予算に匹敵する104兆円以上が投入されました。私達医療者、介護従事者、エッセンシャルワーカーとして奮闘されている方々、そして、市民の皆様も、この巨額な政策投資は当たり前だという認識があることも事実です。昭和の高度経済成長期とは全く違うあらゆる危機の直面する現代社会において、今、政府は、次世代の子供達に何を残して去るのかその一心で、早急に「経済成長と財政の健全化」をしなければ、これからも継続する危機迫る時代において、遺恨を残してはならぬとの想念から、霞が関の官僚も政治家の皆様も懸命にこの「財源問題」から脱却して、最低限の国民生活を死守しようと喧々諤々の協議をしています。少子化問題も直ぐには解決しない大きな課題です。これまでは、誰もが、救急車を呼べば、直ぐに対応してくれる、病院も介護施設も対応して当然との日本人の依存心理があることも事実です。そして、物価高騰、ガソリン価格の高騰も全て政治家の責任との揶揄は、この依存的な精神に他なりません。

これからも高齢化が進むのだから、「特養を新設すべき、24時間365日 病院は当たり前医師や看護師が対応すべき、何でも安いほうが良い、増税なんてとんでもない」この思考そのものを変えなければ、我が国、この日野の街の将来に投資すべき資金が確実に枯渇すること、一般の家計を見れば一目瞭然であることを深く見つめる時代であることを認識すべきだと痛切に感じています。特に、この日野の街は、現在、緊急財政宣言下であり、抜本的に日野市の経営改革をしなければ、近未来、病院も介護福祉施設も保育園も運営できなくなる事態へ向かっているのです。現在、近未来を予見しながら、これから、この街の医療と介護、福祉サービスを市民の皆様と共に考えて行動しなければ、市からの財政補助など全くなくなります。この社会保障分野の財源については、根本から見直して、病院の役割分担を明確化し、働く医療者の集中化と地域でこれから20年以上増え続ける高齢者の方々の命を守るための施策を推進しています。介護施設や介護サービスも同様です。介護保険財源が枯渇し、政府は、これから抜本的な改革を進めることとなります。誰もが、今の生活を変えたくない、当たり前救急車を呼べばいつでも駆けつけてくれて、病院へ搬送してくれることが出来なくなる時代へ向かっていることを認識し、本当に病気で窮する方々の命を救えるのか、そこで、地域の病院や診療所で共同して市民の命を守ること、この政策がさらに進みます。さらに、介護保険制度発足から23年が経過していますが、この介護の支え手である介護士が不足し、市内外でも多くの事業所が経営破綻しています。誤解を恐れず申し上げれば、「保険料払って、医療や介護サービス無し」の時代へ向かわせるのか、日野の街に住む、働いている方々が、会社を定年後、皆で生活に窮する、苦悩されている方々の支援が、これから最も大切な生き方ではないかと思えてならないのです。特に、日野市役所で働かれている方々は、定年後、市内でヤングケアラーや子供食堂等、病院や介護施設の通院等の支援等、積極的にボランティア活動をして頂きたいと思えます。全て平等であるとの考え方は理解できますが、これからの日野の街、日本を考えれば、高所得者からは多額な保険料や税金徴収、資産家の皆様からは、窮する方々へのクラウドファンディング、生活保護を受給せざるを得ない方々の大多数の理由が、病気で働けない方々だということも忘れてはならないことです。過去の日野市行政には申し上げたいことはありますが、その責任追求以上に、今、深刻な現状にあるとの認識から、まずは、末席の医療者、経営者としては、基幹病院である市立病院を皆で応援していくことです。市の赤字補填額は、誰もが驚愕する額面であることは医業経営のプロとして理解しています。そして、この街の病院との協働が実践されていないこと、これは、私にも大きな責任がありますので、粘り腰で少ない市内の病院の経営者やマネージャーとの協働化を進めて参ります。すでに、19万人の中規模都市である日野市内の病院や老人保健施設の市民入院者は、概ね850人、癌や重篤な疾患を除いた要介護の高齢者だけでも、現在1万人を超えているのです。5年後は、要介護3-5の方々が、400人から500人増えていきます。要介護者1-5全体総数は、1400人増えます。また、救急搬送される方々の多くが市外の病院へ時間が掛かって他市や区内まで搬送されています。村度なしに市民医療のことを考えた上でお話し申し上げますと、まず国の政策は債務残高で世界最悪の状態という窮地に置かれていて、医療現場は、DXやICTを利活用して、さらに効率化と合理化を進めて、患者さんのことを中心に出来る限り生活までも、地域の調剤薬局やケアマネージャー、訪問看護師、訪問介護士、管理栄養士等と共に支えていくことを推進する政策が強力に押し進められていきます。これまで、医療提供体制は、医療者側の論理で進められてきたことを、「患者中心で、より楽に その方の生活や希望の寄り添っていくこと」当たり前のようなようですが、この意識や行動を転換させることを進めない限り、病院の存在価値や報酬も下げていくという政策や制度が変わっています。

まず、第1点は、財務省が発表している財政審、今回の政府の経済政策方針（通称：骨太骨子）と厚労省政策も、少ない財源で、適正かつ患者さんのためになる医療や介護を進めていく政策で一致しています。人生100年時代は喜ばしいことではありますが、2040年には、入院患者さんの80%以上が高齢者となり、当たり前85歳、95歳の

方々が入院することになります。85歳の重篤な方に心臓マッサージをするようなことはしないで、いかに痛みや苦痛を軽減すること、有限な人生をいかに生きたいかを確認させて頂きながら、医療サービスを進めていくこと、高齢者が増えるということは、財源を投資すれば良いとのことではないということ強調したいと思います。では、日野市ではどうすべきかについてですが、支え手がない中で、高齢者の方々にも働いて頂く機会をいかに増やすか、勿論、若い職員さんを増やすこともやっていますが、この少子化問題がダイナミックに変わることはない誰かが理解することです。企業を定年した方々、そして、医療や介護、福祉で働いている方々も含めて、65歳を超えてもあらゆる選択肢で働く場、その環境を市行政と民間が創出していくことが最も重要だと考えます。ロボットで介護をするという研究者もいますが、人間の尊厳がありますからロボットでは出来ない人間の心の機微を掴んで介護することは難しいと考えます。医療は、ロボティクスの進化で、さらに、ダヴィンチ等の手術で益々ロボット手術が進化していきます。市民の皆様には、健診や人間ドックを受けて頂き、早期発見で治癒、病気を治すことが出来ることが多くなることも明確です。一方、介護の方は支え手がなくて70歳以上の方々が介護の仕事をするををしていることが増えました。このことをネガティブに捉えるのではなく、多少の病気があっても働ける時間は働くことが、長寿に繋がるのではないかと考えています。

確かに、政府も介護の支え手の展望が無い現状を深く認識しています。私たち現場従事者も65歳を超えても働き続ける、少額でも税金を払うことで社会に貢献しているという自負を持つべき時代だと考えます。最低賃金も上がっています。そして、強調したいのは、日野市には高度急性期の病院がないこと、大学病院のような高度集積かつ手術や救命センターがないこと、この点については、基幹病院である市立病院が、2次レベルの救急センター機能を具備し、内科・外科ともに医師や看護師が、24時間365日存在し、その病気の状態を即把握して、救命医療が必要なのか、即手術が必要なのか、この医師の迅速な判断ができる体制構築が、今、急務であると考えます。トリアージという概念ですが、このトリアージで、隣接市への搬送による救命、即手術が必要であれば、その手術が可能な病院へ搬送する、市立病院や市内の病院でやれる治療や処置や看護であれば、市内で完結することが求められるのです。その意味では、他市と比して、現在、医療格差があり、市立病院の機能と役割をいかにするか、この意思決定が急務であり、市長や副市長、医師会長、地域の病院間で協議すれば、長年の市立病院の経営問題を含めて、即、コミットメントできる内容であることは指摘するまでもありません。長年、医業経営をやってきた末席の経営者の立場から申し上げます、もう、医業経営は、公務員型経営からの脱却こそが必須であり、医業経営の実践者や多くの大学病院の医師陣に任せていくことこそが、市民医療の観点から極めて有益であることは誰も否定できない事実であります。介護保険制度のことも含めて、介護保険に係る財源も枯渇していきます。日野市内の要介護者の推移は、要介護3が車椅子レベル、要介護5が寝たきりで、今後要介護5はそれほど増えないのですが、今後、5年間で要介護3～5で400～500人増えます、要介護1～5で1,400人増えます。問題は日野市民の救急搬送数なのですが、85歳以上の救急搬送数、搬送されている実態数値も把握しております。この搬送されている方々の多くは、移動手段なき高齢者が過半数を占めています。「帰りのタクシー代が数万円も掛かった 次の日にお父さんの面会に行ったら、別の病院へ転院してほしいと言われて困っている」こんな悲鳴や苦悩が、現場に届けられています。まずは、この街で完結できる医療・介護体制を創ること、特に、重篤でない高齢者特有の疾患等は、市内で完結し、市内の医療者や介護施設等で対応していくことです。それには、基幹病院である市立病院の経営改革と市民の深い理解、介護現場の現状への理解が必要です。一部の評論、批判だけしか出来ない市議会議員は削減し、報酬も大幅削減すること、そこには、DXやネット上で即議論が出来る、市民の参加型政治の実現が不可欠です。そこに、市長や副市長がコミットメントできる体制への転換も不可欠であろうと考えます。「社会は矛盾ばかりであることを把持して、眼の前の現実を変えていくこと」、これは、医療現場や介護現場、福祉の現場にも問われています。行政にも問われていることです。医療もAI導入で、内視鏡、CTやMRI画像に診断まで出来る時代です。そして、肺がんであれば、そのステージによっては、即、最も都内で手術をやっている病院へ繋げていくシステムが構築されることになります。最後に、この日野の街を良き街に 最期まで この街で生きていて良かった この思想こそが、最も大切なことであること、経営者や行政リーダー等が率先垂範で行動して、この日野を良き街に変えていくことこそが問われているのではないのでしょうか。



【出席報告】 柴田 健介 委員長



	会員総数 (出席免除数)	出席総数 (免除者出席数)	MU	欠席	出席率
本日報告(9/13)	34 (0)	18 (0)	2(0)	14	58.824%
前回訂正(9/6)	34 (0)	21 (0)	4(0)	9	73.529%
前々回訂正(8/30)	34 (0)	18 (0)	4(0)	12	64.706%
前々々回訂正(8/23)	34 (0)	24 (0)	6(0)	4	88.235%

<事前の MU>

函子 久雄 (理事会)

遠藤 力 (理事会)

<前回の MU>

伊東 秀章 (クラブ奉仕) 岩田 和頼 (社会奉仕) 柴田 健介 (クラブ奉仕) 疋田 久武 (例会向上)

<前々回の MU>

石場 裕美 (理事会) 岩田 和頼 (理事会) 遠藤 力 (理事会) 森原 豊 (理事会)

<前々々回の MU>

まんぼう (クラブ協議会) 遠藤 力 (クラブ協議会) 西山 尚之 (クラブ奉仕) 高城秀一 (理事会)

阿野 正揮 (理事会) 熊井 治孝 (例会向上)

【ニコニコ報告】 柴田 健介 会員(代理)

本日のニコニコ： 14,000 円 / 累計 170,000 円

ビジターフィー： 0 円 / 累計 12,000 円

北村 淳 君 遠藤正樹様 ようこそお越しくださいました。卓話よろしくお願ひいたします。

西山 尚之 君 本日は欠席です。日曜日に行われたラグビーワールドカップ、日本対チリ戦の勝利に湧いております。次戦は 18 日月曜日早朝 4 時(日本時間)キックオフ、対戦相手はイングランドです。熱い応援よろしくお願ひします。

疋田 久武 君 本日は康明会理事長遠藤正樹様 卓話ありがとうございます。楽しみにしております。

柴田 健介 君 医療社団法人康明会理事長 遠藤正樹様 ようこそお越し下さいました。卓話楽しみにしております。よろしくお願ひ申し上げます。

My Rotary

My ROTARYへようこそ

MY ROTARY ログイン

アカウント登録

ロータリーのスポットライト

シンガポールでの2024年ロータリー国際大会にご参加ください。詳しくはこちら >>

6月10日、ロータリーの「世界を変える行動人：インクルージョンの推進者」イベントの配信で、多様性・公平さ・インクルージョンの推進に貢献した会員たちのストーリーをお聞かせください。詳しくはこちら >>

My Rotaryに登録しましょう！

←登録はこちらのページから
my.rotary.org

My Rotaryではロータリーの最新情報をご覧いただけます。

←シンガポールでの2024年ロータリー国際大会はこちらから

クラブ内My Rotary登録者数

23.9.13現在

登録 20、未登録 14、会員数 34、20/34=58.8%

東京日野ロータリークラブ会報

事務局：〒191-0031 東京都日野市高幡 3-8 田中ビル 3 階

TEL：042-594-3711 fax：042-593-0510

例会：毎週水曜日 (12:30 より) 例会場：高幡不動尊客殿

URL：<http://www.hino-rotary.org> 桃源院青雲 5 階(2023.7.1~)

メール：info@hino-rotary.org

会長：北村 淳 幹事：伊東 秀章

会報委員会：山口 徹雄 (委員長)

疋田 久武 (副委員長)

小島 馨

菅原 直志

山下 雅裕